

平成 19～24 年度用 高等学校外国語 英語 I 教科書調査研究の観点

発行者番号・略号	教科書名	記号・番号
9 開隆堂	Revised Edition ENGLISH NOW I	英 I 040

## 1 内容

### ① 題材内容

- ◎ 題材は英米に偏ることなく一貫してグローバルな視点を保ち、「学校生活」「スポーツ」「異文化理解」「言語」「環境問題」など多様な分野のものを取り上げている。情報としてもたいへん興味深く、学習者の精神年齢を配慮したものになっており、楽しさの中にも次代を担う今の若者たちのためにたいへん有益な読み物になっている。
- ◎ 「文化による色の違い」(4 課)、「留学生の日本での異文化体験」(5 課)、「アメリカ車いす旅行」(6 課)、「三内丸山縄文遺跡」(7 課)、「女性アスリートの先駆者 人見絹枝」(8 課)、「ゴミ問題の解決法」(9 課)、「オンドルとキムチ」(10 課)、「アフガン難民の少女の夢」(11 課)など、興味深く社会的にも関心と呼んでいる話題を取り上げている。
- ◎ 本文ページに質問項目 (QUIZ)、巻末に日本語による背景資料 (「題材理解のために」) を設け、内容理解をより深める工夫をしている。

### ② 言語材料

#### ア 語彙の選択と配列

- ◎ 語彙は平易で活用度の高い基本的なものを無理なく学べるように、よく精選している。
- ◎ 新語は課末の練習問題には出さないようによく工夫している。

#### イ 文・文型・文法事項の選択と配列

- ◎ 学習指導要領に基づいて易から難へと配列するように、十分に工夫している。
- ◎ 学習事項の定着を図るため、反復練習ができるように、随所に工夫がされている。
- ◎ 各課の重要事項は本文中にマークして脚注で取り上げ、さらに課末の“Key Points”でもまとめている。特に中学の復習事項をきめ細かく扱っている。

#### ウ 文の長さとその難易による配列

- ◎ 文は、語数の少ない短い文から次第に長い文へと、学習者に負担にならないように段階的に学習できるよう、よく工夫している。

#### エ 音声

- ◎ 巻頭の“Let’s Start”で発音の基本的な学習事項を扱い、2 箇所ある「つづり字と発音」でフォニックスの特徴的なルールを扱っている。
- ◎ 傍注に示された新出語には「発音記号」と「カナ表記」が併記されており、学習者に応じた段階的な音声指導ができるよう配慮されている。

#### オ 言語の使用場面と働き

- ◎ 各課末の練習問題には必ずリスニングで本文理解を確認する活動“Comprehension Check”が設けてある。さらに、課末の“Let’s Talk!”では「言語の働き」を意識した対話練習が行える工夫がある。また、5 箇所にある“Let’s Communicate!”では、「言語の使用場面」を考慮した各技能にわたるコミュニケーション活動が行えるよう工夫されている。

## 2 分量・構成

- ◎ 巻頭の“Let’s Start”ではアルファベット、発音、基本動詞など、中学の基礎的な復習事項を扱っており、通常の課への無理のない導入ができるよう工夫されている。
- ◎ 各課の分量は、本文・練習問題ともに、易から難への配列に伴い、段階的に増えるように配慮していて、全体として十分消化できる適切な量である。
- ◎ 第 3 課以降の課の冒頭に置かれた“Warm-Up”は、本文に入る前に題材に関連する平易な質問に答えることを通して、題材への興味・関心を引き起こし、活気ある授業を行えるよう工夫している。

## 3 表現・表記・使用上の利点

- ◎ 大判 (B5 判) の利点を活かし、ゆとりのある紙面構成となっている。
- ◎ 写真やイラストを含め、すべてカラーでありながらも、けばけばしさのない美しい色使いとなるよう配慮されており、学習者が意欲をもって生き生きと学べるよう工夫している。
- ◎ 印刷は鮮明で表紙や口絵も美しく、内容的にも英語学習の環境作りとしての役割を十分に果たしている。
- ◎ 活字は太めで適度に大きく、字間、行間も適当で読みやすい。
- ◎ 各課の本文では、“Key Points”で学習する言語材料を含んだ文に記号が付けられており、学習の便宜が図られている。
- ◎ 巻末の「題材理解のために」には日本語による各課の背景資料を掲載しており、学習者が題材内容に関心を深める工夫がされている。また、新出語の意味も示されており、辞書的な使い方もできるようになっている。
- ◎ 後見返し裏にはいろいろな前置詞の使い方をイラストを使って示し、後見返しには「不規則動詞活用表」「代名詞の変化」を示しており、必要時に繰り返し確認できるよう学習上の便宜が図られている。